

# お互いさま

otagaaisama



特集

## 回復期リハビリテーション病棟協会 第47回研究大会 in 米子

全国のリハビリ関係者が集結。  
大会を支えたおもてなしの心

クローズアップ

### ベーカリーカフェ ブレッド&バター

リニューアルで働く環境を整備。新たな交流の拠点にも

キラキラ働き人

介護老人福祉施設 うきま幸朋苑 介護士 田名部 周悠さん

恵みあい、助けあう

新コーナー

地域にもっとお互いさまを

地域とともに歩むこうほうえんの取り組みをご紹介します

こうほうえんNews

こうほうえんの最新トピックス

2026 April

季刊誌(年4回発行)

NO. 20



社会福祉法人 こうほうえん

## 回復期リハビリテーション病棟協会第47回研究大会 in 米子



米子コンベンションセンターと米子市文化ホールを会場に、2日間わたって開催されました



全国のリハビリ関係者が集結。大会を支えたおもてなしの心

### 大会長・角田院長インタビュー

#### 回復期リハビリの原点に立ち返った2日間

2026年2月6・7日に米子市内で開催された「回復期リハビリテーション病棟協会 第47回研究大会」。錦海リハビリテーション病院が大会事務局を務め、さらに法人一丸となり、オールこほうえんとして、おもてなしの心で大会運営を支えました。

人口15万人の交通の不便な地方都市、かつ積雪などの天候に不安がある中で開催でしたが、全国から約2000名の回復期リハビリ関係者が来場。講演会場は、時には立ち見が出るほど盛況を博しました。大会長を務めた角田院長は「心配した天気もつてくれて、多くの人が『米子に来てよかった』と満足する姿に感動しました」と振り返ります。今大会のテーマは「地域のなかの回復

#### お話を聞いた人



(右から) 錦海リハビリテーション病院  
病院長 角田 賢さん  
副院長 竹内 茂伸さん  
事務長 善波 吉人さん

期、地域のための回復期」。回復期リハビリの原点に立ち返ることを掲げています。回復期リハビリの第一人者や厚生労働事務次官による講演、行政の視点から医療福祉を語るプログラム、さらに「ユマニチュード」創始者のイヴ・ジネスト氏による貴重な講演も急遽開かれ、会場は熱気に包まれました。

#### コロナ禍を経て待望の懇親会開催

また、新型コロナウイルスの流行で7年間中止されていた全体懇親会も復活。「リハビリテーションに関わる仲間が直接顔を合わせ、交流することもまた『原点』です」と角田院長。牛骨ラーメンやカニ汁、ジビエなど鳥取の味が振る舞われました。

角田院長は献身的に働いたスタッフに感謝しつつ、次のように語ります。「経営や診療報酬といった現実的な課題に向き合いながらも、私自身が本来目指すべき医療の方向性を再確認し、原点に

たちが、今後の病院を力強く牽引してくれると確信しています。

### 大会事務局長・善波事務長インタビュー

#### 職員とつくり上げた大会熱量をキープしたい

「米子に来てよかったと思ってもらいたい」。大会長である角田院長のこの思いを汲み、「運営会社に丸投げせず、自分たちの手で作り上げよう」と動いたのは大会事務局長を務めた善波事務長です。例えば、12000もの病院へのポスター発送や20000人分のクロック札づくりといった地道な作業を外部に任せず、スタッフ全員で協力して取り組みました。「大会をつくり上げるプロセスをみんなが楽しめました」と笑顔で振り返ります。

入念な準備の末、大会期間中はオールこほうえんで臨み、各現場で対応する柔軟性と連携力を発揮。「過去の開催地と比べると、米子は交通面での不利はありましたがそれ以上に、丁寧な対応とホスピタリティが、参加者の満足度につながったのでは」と分析します。

また、地域全体の回復期リハビリの底上げのため、大会前年に6回のプレ講演会を開催。周辺医療機関を巻き込んだことも大きな成果です。「病院規模を理由に諦めず、スタッフ一丸となつて大会を成功させたことで、自信と誇りが職員の中に芽生えています」と手応えを感じています。この熱量を絶やすことなく、地域全体でリハビリテーション医療の盛り上げに貢献することを目指しています。

立ち返る貴重な場となりました。この学びを糧に、今後も地域に根ざしたりハビリテーションの発展に尽力する決意を新たにしています。

### 実行委員長・竹内副院長インタビュー

#### 裏方として大会を支え参加者の満足が報酬

実行委員長を務めた竹内副院長は、その最大の使命を「全国から人を呼び、企業を誘致すること」と位置付けます。結果として、42社による展示と11件のランチョンセミナーを実現し、安定した運営基盤を築くことができました。

内容面ではプログラム編成にこだわり、全国から集まった830もの演題すべてを担当スタッフが読み込み、丁寧に

カテゴリーズして発表者が輝ける場を作りました。また、同院の多くのスタッフが発表を希望。人材育成の観点から、今後10年、20年を担う若手スタッフを各プログラムの座長として積極的に登用しました。大規模な学会運営に関わることで、若手が自信を得て、組織が活性化することを目指しています。

錦海リハビリテーション病院は決して大きな病院ではありません。単体でこれほどの大規模学会を運営することは容易ではありませんが、オールこほうえんの協力体制があったからこそ、無事故で大盛況のまま大会を終えることができました。「自分たちは裏方に徹し、参加者が満足して帰られる姿を見るのが何よりの報酬」と竹内副院長。この経験を通じて成長したスタッフ



会場では、全国から集まった2000名の参加者をこほうえん職員が応対



講演会やシンポジウム、一般演題などのプログラムが組まれました



最新の機器やサービスが紹介された企業ブースも大盛況



懇親会場を大いに盛り上げたこほうえん職員による和太鼓演奏

### 回復期リハビリテーション病棟協会 第47回研究大会 in 米子

- 大会テーマ 地域のなかの回復期、地域のための回復期
- 日程 2026年2月6日(金)・7日(土)の2日間
- 開催場所 米子コンベンションセンター  
BIG SHIP・米子市文化ホール
- 参加者 2020名(全国各地より)
- 研究大会HP  
<https://www.kinkai-rehab.jp/47kaifukuki-reha/>





朝から一つひとつ手作業で手早く、正確に、そして丁寧にパンを仕込みます。オープンが大きくなったことで製造効率もアップ



ハード系パンや調理パンなど、おいしさや素材にこだわった種類豊富なラインナップ。季節のパンや新作の開発も意欲的

## イチオシパン

### キャラメル&ホワイトチョコと胡桃の生食パン



人気商品「生食パン」のアレンジメニュー。生食パンは、砂糖を極力入れず、豆乳クリームを使った体にやさしい自然な甘さ。

### メンチDEエッグバーガー

野菜もたっぷり、具だくさんの調理パン。その日の朝に仕込んだ具材を挟んだバーガーやサンドは種類豊富。新メニューも続々開発。



店内のキッズコーナーは、おもちゃや絵本、ベビーベッドが用意され、赤ちゃん連れも安心して過ごせるつくり



近隣の病院や福祉施設、都内のオフィスなどで出張販売も実施。出張販売のスケジュールはお店のSNSで随時更新



## リニューアルで働く環境を整備。 新たな交流の拠点にも

販売スペースと調理室の間にガラス窓が新たに設けられ、お客様から調理風景が見えるように

## 施設紹介

### ベーカリーカフェ ブレッド&バター

- 住所 東京都北区浮間5-13-1
- 電話 03-5914-1371
- 営業時間 8:30~17:00
- 定休日 土・日曜、祝日、夏季、年末年始



HP



Instagram



### リニューアルで課題解決 休業期間は新たな気づきも

今回の改修では、販売スペースの壁を取り除き、厨房・調理室を拡張。オープンは3段に、発酵機は1台増えました。調理室をガラス張りにしたことで、店内からフレンズさんが作業する様子を眺めることができず。「地域のお客様の反応は好感触。ガラス越しに作業を見てもらえることで、フレンズさんのやる気も高まりますし、みんなのすごさを知ってもらえるのが嬉しいですね」と手応えを感じています。

一方で、工事による休業期間の働く場の確保は大きな課題でした。この間、フレンズさんは施設外就労として2か所ほどでお世話になり、就労継続支援B型事業所から内職の仕事を紹介してもらいました。「普段、忙しいパン屋で手際良く作業しているフレンズさんは、違う仕事でも一生懸命覚えて想定外の3分の1の時間で終わらせてしまうほど。仕事を見つめるのが大変でした」と苦笑します。仕事がない時は、うきま幸朋苑の屋上整備、地域清掃、窓ふき、コンビニ清掃などのボランティア活動にも取り組みました。普段と違う作業をすることで、「こんなこともできるんだな」と再発見もあったといいます。

### 地域とともに支え合う 子どもの居場所支援

同店は、駅から徒歩15分の入り組んだ場所にあり、決して恵まれた立地ではありません。特に、就労継続支援A型事業所は、「福祉」として質の高い支援の提供と、「企業」としての売り上げや生産性の両方が求められ、経営を安定させるだけでも一苦労です。それでも、素材と味にこだわり、営業努力を重ねて地域から親しまれる場所へと成長しました。公益事業として1〜2か月に1回、無料のピラティス教室を開催し、講師は藤井さんが務めます。教室の開催時には、「居場所支援基金」、「子ども食堂基金」を設置。参加者の皆さんをはじめ、たくさんの方の募金やボランティアに支えられながら、子どもの居場所支援にも取り組んでいます。「学校への復帰サポートなどを行っています。職員にとっても勉強にもなっています」と今後も力を入れたい方針です。

また、ドッグランやベビーベッドもあり、大好きの人、赤ちゃん連れの人もあらゆる人に対応できる店づくりを心がけています。「どんな方もご利用できるように工夫しています。私たちの自慢のパンを、ぜひ食べに来てください！」

## お話を聞いた人



ベーカリーカフェブレッド&バター 管理者

**藤井 綾子さん** 東京都内の公立民営の障がい者支援施設などを経て、2011年入職。15年から管理者を務め、サービス管理責任者も兼務する。

### A型事業所の 手づくりパンの店が大規模改修

東京都北区、うきま幸朋苑の2階にある就労継続支援A型のベーカリーカフェ「ブレッド&バター」。店内は毎日、香ばしい焼き立ての香りに包まれ、素材や味にこだわった手づくりパンが並びます。

「就労継続支援A型」とは、障がいのある人や難病を抱えている人が、ある一定のサポートを受けながら働くこと

ができる福祉サービスです。同店では、利用者の皆さんを「フレンズ」と呼び、現在は知的障がいのある人を中心に、13名がパンの製造に励んでいます。

フレンズの皆さんは、事業所と雇用契約を結んで仕事をするので賃金が発生します。1日5〜6時間勤務で平均賃金は月額12万円。ボーナスが支給されることもあります。「フレンズの皆さんはとても優秀で、毎日生き生きと働いています」と胸を張るのは、管理者を務める藤井綾子さんです。

同店は18年前に開業。運営が軌道に乗るにつれ、パン作りが間に合わないほど調理室が手狭になっていました。そこで、2025年10月下旬から約3か月かけて大規模改修を実施。今年1月19日に待望のリニューアルオープンの日を迎えました。

地域とともに歩むこうほうえんの取り組みを紹介するコーナーが始まります。初回は、こうほうえんが大切にしている理念や想いをご紹介します。

## 「互恵互助」の精神を次世代へつなぐために

「互恵互助(ごけいごじよ)」は、廣江研会長が創り出した造語であり、お互いに支え合い、お互いの幸せを分かち合うという、こうほうえんの根幹となる精神です。この言葉には、昔は当たり前前の光景であった「向こう三軒両隣」のように、地域の人々が互いに助け合いながら暮らす社会を取り戻したいという想いが込められています。

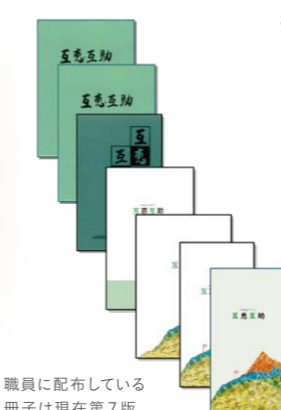
現在、地域社会のつながりが弱まりつつある中で、人と人が自然に声を掛け合い、支え合える関係性を守り、育てていくことは、法人としてだけでなく、職員一人ひとりの生き方にもつながる大切なテーマです。

## 「互恵互助」冊子が示してきた歩み

こうほうえんでは、この価値観を職員全員で共有するために、「互恵互助」の想いをまとめた48ページの冊子を制作し配布しています。この冊子は、2006年3月に第1版が発行され、

これまでに7版を重ねてきました。そして現在、より深く伝わる構成を目指して、第8版への改訂準備を進めています。これらの改訂は時代に合わせた表現の見直しが主であり、理念そのものを変えるのではなく、「わかりやすく、より伝わる形に磨き続ける」ための更新です。

冊子は版を重ねつつ長年にわたり読み継がれ、今では「こうほうえん職員のバイブル」として多くの職員に親しまれています。事業所によっては、朝礼やミーティングで読み合わせを行うなど、日々の実践に根づく取り組みも続いています。



職員に配布している冊子は現在第7版

## 山のデザインに込められた想い

冊子の表紙に描かれた山のデザインには、こうほうえんのこれまでの歩みと、

これから挑む未来への姿勢が象徴的に込められています。それは単なるイラストではなく、こうほうえんが大切にしてきた「互恵互助」の精神を一つの風景として表現した「理念の地図」ともいえるものです。

この山のデザインは、職員一人ひとりがどの地点に立っていても、互恵互助の精神を胸に、同じ頂を目指して歩んでいることを示しています。そして、過去の歩みを力に、現在の挑戦を積み重ね、未来の険しい道をも切り拓いていくという決意を込めた、こうほうえんの「未来へのメッセージ」なのです。

## 互いを支え、共に未来をつくるために

互恵互助は、単なる言葉ではなく、わたしたちが日々の仕事の中でどう人と向き合うかを示す「行動のヒント」でもあります。向こう三軒両隣のような温かな関係性を職場でも地域でも大切にしながら、互いを支え、成果を喜び合い、まだ見ぬ未来へ挑戦し続ける。その積み重ねが、こうほうえんの歩みとなり、文化となっていくのです。

「互恵互助」が実現された、理想の世界を象徴しています。誰もが助け合い、支え合い、喜びを分かち合える—そんな未来の姿です。

### 山頂

ここは、まだ誰も踏み入れたことがない「未知の領域」です。色が茶色で表現されているのは、未来が必ずしも平坦ではなく、険しく厳しい挑戦が待っていることを示しているからです。同時に、それは開拓し、育て、耕すことで新しい地形となり得る、未来の可能性の象徴でもあります。

### 茶色の未来領域

### 中腹の旗

その理想の頂を目指し、挑戦しつづけるこうほうえんの姿勢を表しています。旗は風に揺れながらも、しっかりと未来に向けて立ち続けます。

### 青色の現在地

これは、まさに今わたしたちが立つ場所です。挑戦の途中であり、まだ山頂には届かない。しかし確かな一歩を積み重ね、前へ進み続けていることを表しています。

### 緑色の斜面

これまで積み重ねてきた努力と実績の積層を表しています。歴史の一歩一つひとつが地面となり、山を形づくっています。

### 黄色い花

歩みの中で生まれた成果の象徴です。利用者の笑顔、地域からの信頼、職員の成長—そうした一つひとつの「実り」が花として描かれています。

# こうほうえんNews

## News 01 「健康経営優良法人2026(大規模法人部門)」認定

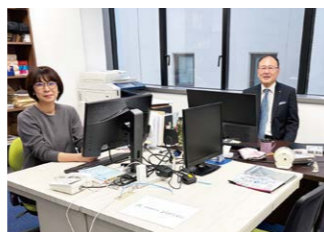
『社会福祉法人こうほうえん』は、経済産業省が推進する健康経営優良法人認定制度に申請し、昨年に引き続き、優良な健康経営を実践している法人を表彰する「健康経営優良法人2026(大規模法人部門)」に認定されました。この制度は、従業員の健康保持・増進に戦略的に取り組む優良法人を国が評価・可視化するものです。今年度は、全国で大規模法人部門3,765法人が認定され、鳥取県内の認定企業は、大規模法人部門は7法人です。県内の医療法人、社会福祉法人では唯一の認定法人となります。



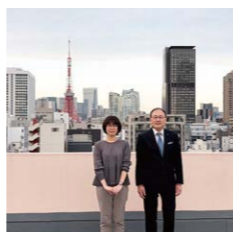
## News 02 東京事業本部 事務所移転のお知らせ

東京事業本部の事務所が、2026年3月10日より以下に移転しました。

- 住所: 東京都港区芝5-26-30 専売ビル6階6-3
- 電話番号: 03-6410-7365(変更なし)
- FAX番号: 03-6410-7364(変更なし)



(左から)船橋美沙子 課長、浦崎宏治 東京事業本部長



事務所屋上にて、東京タワーを背景に撮影

## News 03 イヴ・ジネスト氏、優しさ伝える技術を講演

2026年2月7日、認知症ケア技法「ユマニチュード」(ケアを受ける人の尊厳を最も重視するアプローチ)を共同開発したイヴ・ジネスト氏が、米子市にて2つの講演を行いました。

まず、こうほうえんが事務局を務めた「回復期リハビリテーション病棟協会第47回研究大会」(米子コンベンションセンター)で、基調講演に登壇。世界15カ国で広がるユマニチュードについて、「人間らしさを取り戻すケア」としての意義を、熱意を込めて解説されました。

講演では、技法の基盤となる4つの柱—「見る」「話す」「触れる」「立つ」—を紹介。「触れる」の技法では、正しい触れ方を身につけることで安心感を与え、より協力的な関係を築けると述べられました。さらに、環境を整え、人間性を尊重した関わりを徹底すれば、約9割の方は寝たきりを避けられる可能性がある」と強調。実際にユマニチュードを実践したケアによって、寝た

きりに近い状態の方が短期間で立ち上がるようになった事例も紹介され、参加者は深い関心を寄せていました。

その後、『アザレアコートこうほうえん』に場所を移し、保育・介護現場を中心とした職員研修にも登壇。相互尊重の関係がケアの質を高めるというユマニチュードの核心部分を伝えていただきました。

ジネスト氏の一連の講演は、「技術としての優しさ」の重要性を多くの参加者に再認識させ、医療・介護、そして保育の現場に向けても新たな気づきと勇気をもたらす貴重な機会となりました。



イヴ・ジネスト氏(右)

## News 04 ノーリフティング推進委員会の取り組みが「学会奨励賞」を受賞

「鳥取県福祉研究学会 第19回研究発表会」において、『こうほうえん ノーリフティング推進委員会』の取り組みが、高齢者福祉(施設系)分野の「学会奨励賞(優秀賞)」を受賞しました。今回の受賞は、研究発表だけでなく、全施設・全職種が協力してノーリフティングケアに向き合ってきた法人文化そのものが評価された結果とも言えます。今後も、ご利用者にとって安心・安全な生活環境づくりと、働く職員の健康を守る職場づくりを目指し、ノーリフティングケアの推進を続けてまいります。

- 受賞演題:「抱え上げない介護を目指した10年間~ノーリフティング推進委員会の軌跡~」
- 受賞者(共同発表): 介護老人福祉施設さかい幸朋苑 野坂賢一 主任/なんぶ幸朋苑 池田真大 主任



野坂賢一 主任(左)、池田真大 主任(右)

# 「その人らしい暮らし」を叶えるケアを提供したい

コロナウイルスの流行を機に、2020年に異業種から入職。初任者研修は終わっていましたが、実際にご利用者とかかわったことがなく、「エルダー制度」をはじめ、未経験者への手厚いサポート体制が決め手となりました。エルダーの先輩をはじめ周囲の皆さんのサポートのおかげで知識や技術を身に付け、昨年は私自身もエルダーに。自分の振り返りの機会にもなりました。また、東京都社会福祉協議会の中で組織された、都内の高齢者福祉施設・事業所で働く若手介護職員ユニット「東京ケアリーダーズ」にうきま幸朋苑代表として参加し、介護の魅力を発信しています。

昨年からはユニットリーダーを任せられ、ユニットケアの浸透とともに、若手スタッフとICTを活用した業務効率化を進めています。最期の時まで、ご利用者が「その人らしい暮らし」を叶えられるように、働く環境を整え、より良いケアへとつなげたいです。



田名部さんは、東社協の「東京ケアリーダーズ」に参加し、介護の魅力を伝える活動をしています。赤いジャケットはユニットの象徴であり、正式なユニフォームとして着用されています。

☆☆☆  
＼キラキラ！  
**働き人**  
☆☆☆

## プロフィール



介護老人福祉施設 うきま幸朋苑  
介護士

クラブ ショック  
**田名部 周悠さん**

2020年9月に異業種から転職し、現在はユニットリーダーを務める。東京都社会福祉協議会内の若手介護福祉士ユニット「東京ケアリーダーズ」に参加し介護の魅力を発信中。

## 寄付者 一覧

※2025年12月～2026年3月にご寄付をいただいた皆さま 寄付金合計額:1,271,400円

心温まるご寄付を賜り、深くお礼申し上げます。皆様から賜ったご寄付は、ご厚志に沿い「地域貢献事業」として使わせていただいております。

- 藤井春美様/5,000円 ●北山朋宏様/3,000円 ●松岡まゆみ様/3,000円 ●加藤一吉様/30,000円 ●奥田雅裕様/10,000円 ●廣江美穂様/10,000円 ●石田晴瑠様/3,000円
- 安達薫様/50,000円 ●有限会社パイブフレンド様/30,000円 ●車いす寄贈/92,400円 ●その他/1,035,000円 <北東京エリア>●アクティブコーポレーション様/クリスマスカード全園児分
- ご利用者家族様/マフラー・帽子・お年玉 ●協和冷熱工業株式会社/クリスマスケーキ <西東京エリア>●卒園児保護者様/保護者様/玩具・絵本 ●保育教材メーカー/室内遊び用遊具・絵本

## ボランティア 一覧

貴重な時間をいただき、厚くお礼申し上げます 2025年12月～2026年2月にボランティアにご参加いただいた皆さま

- <さかいエリア>●アロマハンドマッサージ…田村貴子様 ●歌・読み聞かせ…朗読なぎさ会6名 ●年末恒例もちつき大会…航空自衛隊美保基地 広報部11名
- ゲームを使ってエクササイズ・太鼓の達人・卓上ゲーム…境港総合技術高校eスポーツ部13名 ●傾聴…傾聴ボランティア(ことぶきクラブ)6名 ●歌・読み聞かせ・体操・習字…日赤ボランティア8名
- 紙芝居・歌・体操…紙芝居の会6名 ●歌・体操・フォークダンス…吉永和代様 ●歌・演奏…角ファミリーバンド10名 ●歌…原義男様 <よなごエリア>●音誦会…名越様 ●生け花教室…野本様
- ハンドマッサージ…山崎様 ●環境整備・衛生作業…就職希望ボランティア2名 ●健康体操・脳トレ…遠藤様 ●フラダンス…アマリスの会9名 ●餅つき…遠藤様・大木様
- 保育研修…令和8年度新規学卒者1名 ●ハーモニカ…佐世川様 ●話し相手…足立様 <ななぶエリア>●キッチンカー…NPO法人山陰福祉の会8名 ●フラワーアレンジメント…1名 ●ピアノ演奏…1名
- 音楽療法…ストロベリーカルテット6名 ●演奏会…まちなかウクレレ音楽チーム4名 ●ハーモニカ演奏…中合様 ●読み語り・手作業…秋鹿様 ●フルート…川上淑子様 他1名 ●ハーモニカ・尺八…恩崎弘美様 他1名 ●カフェ補助…乗田千恵様、仲田みどり様、佐藤陽子様、西山直子様、勝部尚子様、石田喜和子様、斉木ルミ子様、尾原稔枝様、梅木恭美様、足羽恵美子様 ●紙芝居・軽作業・紙芝居読み聞かせ…秋鹿美美子様
- 活花…斉木明子様 ●レクリエーション…池田玲子様 ●食堂…谷口早苗様、須山幸子様、河野富美子様、稲田淳子様、中田玲子様、松本朱美様、松井良子様、角千春様、大谷幸代様
- 子どもの見守り等…大島美紀子様、生田加奈代様、井上幸子様、大谷幸代様、松井良子様 <いなばエリア>●ハーモニカ演奏…2名 ●ギター演奏…2名 ●地域教会慰問…浜坂教会1名、インマヌエル教会1名
- 利用者との会話…鳥取市ボランティアセンター1名 ●話し相手…安心介護相談員2名 <北東京エリア>●袋詰め・販売…内田英子様 ●ネイル・フェイシャルエステ…介護美容研究所47名 ●軽作業…渡邊様、加藤様、池間様、根岸様 ●制作活動…利用者家族様1名 ●コンサート…スターフェスティバル10名 ●傾聴…帝京看護10名 ●ネイル…池田様 ●アートセラピー…利用者家族様2名 ●書道…小林様
- モールドール制作・ネックレス制作…雅様 ●三味線…職員知人3名 ●似顔絵…波木様 ●コースター作り…しおん様2名 ●5丁目カフェスタッフ…鈴木様 ●軽作業・傾聴…桐ヶ丘高校2名
- 保育補助・雑務…西浮間小7名、浮間小6名 <西東京エリア>●体操・マジックショー・ボール体操・体操…株式会社イェクルマッサージ5名 ●読み聞かせ…お話しポケット12名
- よさこい演舞披露と指導…苺の会7名 <南東京エリア>●ジャズコンサート…キャトル4名 ●フラワーアレンジメント…木暮様 ●ピアノ演奏…臼井様 ●落語・コロナ演奏…萩野谷様
- ヴァイオリン演奏…池谷様 他1名 ●アルトサクソ演奏…安達様 ●吹奏楽演奏…市川様 他16名 ●大正琴演奏…堀米様 他5名 ●琴演奏…小樹様 ●コンサート…ハートフル4名
- ハンドマッサージ…プラチナ美容塾5名 ●傾聴ボランティア…杉山様 ●傾聴・買い物同行…申様 他2名 ●誰でも食堂…徳永けいこ様 ●新年を祝う会めでたい獅子披露…和の音スタジオめでたい1名
- 訪問お話し…大井図書館4名 ●調理補助…若林様 他1名 ●クリスマス会調理…クックデリ3名 ●イベント手伝い…栂田様、大高様 他1名



## 法人本部事務局

〒683-0853

鳥取県米子市両三柳1400

TEL:0859-24-3111 FAX:0859-24-3113

フリーダイヤル:0120-418-658

E-mail:welfare@kohoen.jp

## 東京事業本部

〒108-0014

東京都港区芝5-26-30 専売ビル6階6-3

TEL:03-6410-7365 FAX:03-6410-7364



2014年度日本経営品質賞大規模部門  
(鳥取地区/介護)受賞



こうほうえんはISO9001-2015  
(品質マネジメントシステムの国際規格)を  
認証取得しています



こうほうえんは  
社会福祉法人として初めて  
おもてなし経営企業に選定されました



こうほうえんは  
社会福祉法人として初めて  
ハイサービズ日本300選に選定されました

詳しくはHPへ



こうほうえん 検索

<https://www.kohoen.jp>